入　札　公　告

次のとおり一般競争入札に付します。
平成 21 年８月 18 日

独立行政法人日本芸術文化振興会
理事長　茂木 賢三郎

◎調達機関番号　574　◎所在地番号　13

１　調達内容

(1)　品目分類番号　15，28

(2)　購入等件名及び数量　国立文楽劇場録音調整卓等整備（設置、配線、調整、環境整備等含む）一式

(3)　調達件名の特質等　入札説明書による。

(4)　納入期限　平成 22 年３月 31 日

(5)　納入場所　国立文楽劇場（大阪府大阪市中央区日本橋）

(6)　入札方法　落札決定に当たっては、消費税及び地方消費税に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は、本体価格の 100 分の 105 に相当する金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）を入札書に記載すること。

２　競争参加資格

(1)　独立行政法人日本芸術文化振興会会計規程第 16 条及び第 17 条の規定に該当しない者であること。代理人においても同様とする。なお、未成年者、被保佐人または被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同第 16 条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2)　独立行政法人日本芸術文化振興会一般競争（指名競争）参加資格において、平成 21 年度の「物品の製造」又は「物品の販売」で「Ａ」「Ｂ」又は「Ｃ」等級に格付けされている者であること。なお、全省庁統一資格において当該資格を有する者は、同等級に格付けされている者とみなす。（会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加資格の再認定を受けていること。）

(3)　会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。

(4)　入札書の提出期限の日から開札の時までの期間に、文部科学省関係機関において取引停止又は指名停止の処分を受けていないこと。

(5)　仕様書に定める物品を契約担当役が指定する日時、場所に納入できることを証明した者であること。

(6)　購入物品に係る迅速なアフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていることを証明した者であること。

３　入札書の提出場所等

(1)　入札書の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び問合せ先
〒542-0073　大阪府大阪市中央区日本橋１－12－10
独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場部事業推進課
吉澤光朗　電話　06－6212－5084

受付は土曜、日曜、祝日を除く10時より17時までとする。
(2)　入札説明書の交付方法　本公告の日から上記３(1)の交付場所にて交付する。
(3)　入札書の受領期限
平成21年10月13日17時00分
(4)　開札の日時及び場所
平成21年10月23日15時30分
大阪府大阪市中央区日本橋１－12－10　国立文楽劇場　会議室
４　その他
(1)　契約手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨
(2)　入札保証金及び契約保証金　免除
(3)　入札者に要求される事項　この一般競争に参加を希望する者は、封印した入札書に本公告に示した物品を製造できることを証明する書類を添付して入札書の受領期限までに提出しなければならない。入札者は、開札日の前日までの間において、契約担当役から当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。
(4)　入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、入札者に求められる義務を履行しなかった者の提出した入札書、その他独立行政法人日本芸術文化振興会会計規程実施細則第16条第１項各号に掲げる入札書は無効とする。
(5)　契約書作成の要否　要
(6)　落札者の決定方法　本公告に示した物品を供給できると契約担当役が判断した入札者であって、独立行政法人日本芸術文化振興会会計規程実施細則第５条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で、最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
(7)　その他　詳細は、入札説明書による。
５　Summary
(1)　Contracting Entity： MOGI Kenzaburo, President of Japan Arts Council
(2)　Classification of the products to be procured: 15,28
(3)　Nature and quantity of the products to be purchased: Sound recording console 1 set
(4)　Delivery period: by 31, March, 2010
(5)　Delivery place: National Bunraku Theatre
(6)　Qualification for participating in the tendering procedures: Suppliers eligible for participating in the proposed tender are those who shall:
(a)　not come under Article 16 and 17 of the account prescription concerned by Japan Arts Council,
(b)　have the Grade A,B or C qualification in Goods distributors or Manufacture of Product for participating in tenders by Japan Arts Council,
(c)　prove to have the ability to supply the products.
(d) prove to have prepared a system to provide rapid after-sale service and maintenance for the procured products.
(7)　Time limit of tender: 5:00PM 13, October, 2009
(8)　Contact point for the notice: YOSHIZAWA Mitsuo, General Affairs Department, National Bunraku theatre, Japan Arts Council, １－12－10 Nipponbashi, chuo-ku, Osaka-shi, 542－0073 Japan, TEL 06－6212－5084

平成２１年度

国立文楽劇場録音調整卓等整備

仕　　様　　書

独立行政法人　日本芸術文化振興会

国立文楽劇場　舞台技術課

１　調達目的

独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場（以下「文楽劇場」という）は、我が国の伝統芸能の保存・振興について、関西における中心的役割を果たす重要な事業を担っている。

本件は、経年劣化が進んだ、国立文楽劇場の録音調整卓等一式を更新・整備し、その事業の充実を図ることを目的とする。

２　調達内容・数量

１）録音調整卓　・・・・　一式
２）信号処理架　・・・・　一式
３）HDD マルチチャンネルレコーダー　・・・・　一式
４）調達機器設備の設置、配線、調整　・・・・　一式
５）既存機器の接続調整及びバージョンアップ・・　一式
６）環境整備　・・・・　一式
７）完成図書（取扱説明書）　・・・・　３セット

３　納入場所

独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場
住所　大阪市中央区日本橋１－１２－１０

４　納入期限　平成２２年３月３１日（水）

５　技術的要件の概要

１）技術審査において入札機器等の性能等が要件に満たないとの判定がなされた場合は不合格となり、落札決定の対象から除外する。
２）入札機器の性能が技術的要件を満たしているか否かの判定は、国立文楽劇場録音調整卓整備技術審査委員会において、入札機器に関わる技術仕様書、その他入札説明書で求める提出資料により審査して行う。
３）提出された資料が不明解と判断されるときは、技術的要件を満たしてないとみなす場合がある。

６　技術的要件の詳細

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等の要求要件は、以下のとおりである。

１）自社製品だけで要求要件を満たせない場合は、他社製品を使用してもよい。
２）納入する機器は耐久性・信頼性・拡張性を有するデジタル録音調整卓録音媒体であること。
３）納入する機器・据付・配線・接続・調整の費用は請負者側の負担とする。
４）作業日程は独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場舞台技術課（以下「舞台技術課」いう）と協議し、工程表を提出すること。
５）設置場所は舞台技術課の指示に従うこと。
６）電源設備は舞台技術課の指示する電源盤及びコンセントから引き込むこと。
７）運用時間として終日連続して使用できる精度をもち、耐久性・安全性のあるシステムであること。

８）耐震処理を施すこと。
９）納入する機器の取扱説明書（日本語）を３セット提供すること。
10）操作方法・取扱いについて録音スタッフに３日程度の講習会の場を設け指導すること。
11）納入機器に対し、平成 23 年 3 月 31 日までの保証期間を設けること。保証期間内において明らかに利用者側の原因と判断される以外の故障・異常については速やかに無償にて修理・交換をおこなうこと。またその他の故障・異常が発生した場合においても、速やかに対応・修理すること。
12）舞台技術課が指示または定めた諸事項について落札者はその指示に従うこと。

７　メンテナンス・サポート　　　体制仕様
１）デジタル録音調整卓のメンテナンス実績があること。
２）納入後少なくとも１０年間の保全計画書（平成２３年４月以降（２年目）以降の保守体制で保障期限等のある部品交換を想定したもの）を提出できること。
３）メンテナンス・サポート体制が自社にあり、緊急連絡時の当日中に対応が出来ること。メンテナンス・サポート体制書を提出すること。

８　施行場所
国立文楽劇場中継室及びＡＶ室

９　工期
平成２１年１２月７日（月）より平成２２年３月３１日（水）
なお、機器の文楽劇場内への設置工事は原則として平成 22 年 3 月 18 日(木)までに完了すること。

１０　共通事項
１）機器の取り付けに際しては別紙図面の位置において行うものとする。
２）詳細については監督職員の指示により実施する。
３）取付期間及び取付完了後は、監督職員の検査を受け、清掃整理整頓を心がけること。
４）発生材の処理は、請負者において搬出処分とする。
５）場内施設等を汚損または破損したときは　報告義務の遂行と現状復帰すること。

１１　特記事項
１）工程表を作成し提出すること。
２）機器各種亘り線の接続をすること。
３）総合調整、動作試験および機器測定を行うこと。
４）測定報告書を提出すること。
５）その他、関連雑工事を行うこと。
６）本件は、文部科学省発注工事請負等契約規則第３号及び適用規格に準拠し施行すること。

１２　調達物品に備える技術的要件
以下にあげる同等もしくはそれ以上の性能をもつ機器であること。

1　録音調整卓

概要

録音調整卓は全ての公演記録に対応しなくてはならないため、現時点での優れた機能を有するデジタル録音調整卓でならなくてはならない。公演記録時映像機器との互換性を持たなくてはならない。

１）迅速性を高めるためチャンネルの設定状態や外部機器ステータスなど、使用状況等が常に画面で確認できること。
２）コンソールパネルはひらがな・漢字・数字・アルファベットなどが表示可能であること。
３）ダイレクトアウトを保有すること。
４）HA　GAIN・TRIM・PAN は専用エンコーダーであること。
５）各パネルごとのデータを管理・通信できること。
６）CPU の分散処理を可能にし、部分エラーが全体に普及しないこと。
７）電源、DSP ともに電源は二重化であること。
８）ファイル管理などホスト PC はコンソールの動作から独立した構成になっていること。
９）電源投入直後からコンソールの状態が常にバックアップメモリに保存されること。
10）電源投入時は直前の状態が再現されること。
11）エラーデーターが（発生日・時間・エラー内容）記録できること。
12）録音調整卓の保護を目的としたカバーを設けること。（８Kｇまでの荷重に耐えるもの）（軽量な材質で安全性を有するもの、アクリル・木材・軽量アルミなど。）
13）調整卓は同室内での移動が可能であること。（キャスターなど）
14）マルチトラックレコーデイングにてデジタル収録可能な３２CH 以上のハードディスクレコーダーを共有すること。
15）信号処理架およびハードディスク　入出力パッチ盤はラックマウントにすること。
16) 文楽劇場　AV 室映像収録音声処理架を新システムに対応させること。（環境整備を含む）

2　構成

1) 入力	マイク・ライン	（アナログ）	40CH 以上
		（デジタル）	40CH 以上
2) 出力	AUX	（アナログ・デジタル）	16CH 以上
	N—１出力	（アナログ・デジタル）	16CH 以上
	ステレオ・グループ出力	（アナログ・デジタル）	８CH 以上

（デジタル入力・出力は AES/EBU 換算）

3　基準レベル

1) 音声基準入出力レベル	－18/-20 dBFS
2) アナログ音声基準入出力レベル	０/＋4dBs
3) ヘッドルーム	18/20db
4) MIC 入力	－64～＋８dB（ヘッドルーム 30dB）

4　外部同期入力信号　　　　　VIDEO（ブラックバースト）
ワードクロック（TTL/1Vpp、48KHz）

5　入出力回線
1) AUDIO　I/O「入力」　ANALOG　MIC または ANALOG　LINE または AES/EBU
2) AUDIO　I/O「出力」　ANALOG　または AES/EBU
入力＋出力　MAX２５６CH（MONO 換算）

6　内部信号処理
１）入力信号処理

INPUT	96/48/16	MONO/STEREO
EXT　INPUT(MONI/AUX/N-1/MT)	32	MONO/STEREO
TB	1	MONO

２）出力信号処理

M1-1～8	4	STREO
M1-LtRt	4	STREO
M1-1＋2	1	MONO
M2-1～8	4	STREO
M2-LtRt	4	STREO
M2-1＋2	1	MONO
GROUP	8/2	STREO
AUX	16/8	MONO/STREO
N-1	16/8	MONO/STREO
MONI1-ST/SURR(VR)	1	STREO
MONI2,　3	2	STREO
AFL	1	STREO
PFL	1	STREO
UTL　DOWNMIX	2	STREO
OSC		(VAR.1k.400)
TB	1	MONO
BT	1	MONO

7　フェーダー　　　　　　　30ch
A/B　2 レイヤー使用時　60ch

8　伝送周波数範囲　　　　　20～20kHz(アナログ入出力時)
20～20kHz(デジタル入出力時)

9　内部サンプリング周波数　48kHz
内部量子化ビット数　32 ビット浮動小数点

10　音声性能（フィルター　イコライザーOFF 時）

１）デジタル入力
入力サンプリング周波数　32k～52kHz
入力ビット数　16～24 ビット
入力インピーダンス　75 オーム
最小入力信号レベル　320mVp―p

２）デジタル出力
出力サンプリング周波数　48kHz
出力ビット数　24 ビット
出力インピーダンス　75 オーム
出力信号レベル　１ Vp―p

３）伝送周波数特性「各入出力の定格値に対し」
アナログ入出力　±0.6dB 以内（30～20ｋHz）
デジタル入出力　±0.6dB 以内（20～20ｋHz）
±0.2dB 以内（30～20ｋHz）

４）ひずみ率特性（伝送周波数範囲にて、22Hz　HPF 及び 22ｋHz　LPF を使用で）
常規使用状態
アナログ入出力　0.2%以内（マイク系）
アナログ入出力　0.1%以内（ライン系）
デジタル入力　0.1%以内
基準入力レベル＋ヘッドルームに相当するレベルを入力時
（アナログ入出力）　0.4%以内（マイク系）
（アナログ入出力）　0.2%以内（ライン系）
（デジタル入力）　0.1%以内
SN 比（22Hz　HPF 及び 22ｋHz　LPF を使用して）
（アナログ入出力）　56dB 以上（マイク系ー64dBs 入力）
（アナログ入出力）　80dB 以上（ライン系＋４dBs 入力）
（デジタル入力―アナログ出力）100dB 以上（フルスケール基準）
＊アナログ入出力は MIC 入力 150Ω　ライン入力 600Ω終端にて

５）絞り特性　100dB 以上
（８ｋHz において、最大出力レベルに対するチャンネルフェーダーの絞り特性）
LR 間位相差（伝送周波数範囲内）　±２°以内

６）極性　入力端から出力端まで各系統において同極性

７）入出力デイレイ（INPUT(INS ON)------GROUP-----MAS 経路にて）
（アナログ入出力）　5.0ms（入出力及びインサーションがアナログ）
（アナログ入出力）　4.5ms（入出力のみアナログ）
（デジタル入力）　２.0ms（入出力及びインサーションがデジタル）
＊デジタル入力はサンプレートコンバータ使用時の値

11　イコライザー

１）　ＨＦ　（ピーキング/シェルビング）
選択周波数　708 ~22.4kHz(61 ポイント)

等化量　±１８dB(61 ポイント)
Q　0.7/0.4~6.4(31 ポイント)

2）　ＨＭＦ（ピーキング）
選択周波数　385~11.2kHz(61 ポイント)
等化量　±１８dB　(61 ポイント)
Q　0.4~6.4　(31 ポイント)

3）　ＬＭＦ　（ピーキング）
選択周波数　89.1~2.82kHz(61 ポイント)
等科量　±１８dB　(61 ポイント)
Ｑ　0.4~6.4　(31 ポイント)

4）　ＬＦ
選択周波数　20~631kHz(61 ポイント)
等化量　±１８dB　(61 ポイント)
Q　0.7/0.4~6.4　(31 ポイント)

5）　フィルター
HIGH　PASS　FILTER
選択周波数　20~631Hz　(31 ポイント)
減衰特性　１２dB/OCT
LOW　PASS　FILTER
選択周波数　631~20.0kHz　(31 ポイント)
減衰特性　１２dB/OCT

6）　ダイナミクス
コンプレッサー
THRESHOLD　－20～＋10dB　(3１ポイント)
ATTACK　TIME　0.1~70ms　(16 ポイント)
RELEASE　TIME　0.07~2.6s　(14 ポイント)
RATIO　1.1～∞　(8 ポイント)

7）　ゲート/エキスパンダー
THRESHOLD　－50～＋10dB　(3１ポイント)
ATTACK　TIME　0.1~70ms　(16 ポイント)
RELEASE　TIME　0.07~2.6s　(14 ポイント)
RATIO　1.3～∞　(8 ポイント)
HYSTERESIS
RATIO：∞　０～20dB　(11 ポイント)
RATIO：∞以外　(固定)
RANGE　5~80dB　(8 ポイント)
HOLD　TIME　0.07~2.6s　(14 ポイント)

8）　ダイナミクスゲイン
MAKE　UP　GAIN　０～３０dB

12　HDD(ハードディスクレコーダー)

基本的なコンセプトを有する機種で、納入する機器との調整が可能で将来的展望が望める機種であること。

最大96チャンネルＩ／Ｏ

Pro Tools/ HD３Accel（参考機種）

最大96チャンネル I/O　44.1/48KHz時に最大192同時（トータル256）

オーディオ・トラック、192KHz時に36オーディオ・トラック（カタログ数値）

上記機種（同等品）「付属品含」にて、マルチトラック録音を可能にすること。

13　既存機器の接続調整及びバージョンアップ

Aysis-Air　(AV室　映像収録音声処理架)

１）システムハードディスク交換

２）CPUユニット電源交換2式

３）Analog　RIOユニット電源交換

４）モニター出力用アナログ音声基盤交換

５）Aysisコンソールベイ電源交換3式

６）コンソールCRTモニター液晶化工事

14　中継室　環境整備

１）新調整卓用に床面を補修（フリーアクセス移動）すること。

２）既存する設備との接続、調整を行うこと。